

こうふ町 議会だより



「19人の なかまたち」

平成28年度予算2P~4P
予算の審議6P~7P
いっばん質問	町政を問う...11P~14P
私のひと言16P

まち・ひと・しごと 創生総合戦略の推進!!

平成28年度予算一般会計33億7千万円 前年対比105%

(単位：万円)

項目	28年度	27年度	増減	説明	
歳入	地方交付税	12億4,500	12億3,700	800	国からの交付金
	町税	7億1,421	7億4,113	△2,692	企業、町民からの税金
	県支出金	4億3,362	4億1,880	1,482	使用が特定された交付金
	町債	3億9,580	3億4,710	4,870	町の借金
	国庫支出金	1億6,853	1億4,421	2,432	使用が特定された交付金
	繰入金	1億9,040	8,695	1億345	基金からの繰り入れ
	その他	2億2,244	2億2,481	△237	使用料、繰越金、財産収入等
	合計	33億7,000	32億	1億7,000	
歳出	人件費	6億2,787	6億3,529	△742	職員、議員の給与
	補助費等	7億1,253	5億7,154	1億4,099	三町衛生施設組合等補助金
	物件費	6億984	5億2,434	8,550	業務委託料、賃金、備品等
	公債費	4億71	4億1,717	△1,646	町の借金返済
	繰出金	3億8,871	3億7,350	1,521	特別会計へ繰り出す金額
	建設事業費	2億1,779	2億8,750	△6,971	小学校屋根、道路等の改修
	扶助費	2億3,490	2億2,665	825	医療費、子ども手当等
	維持補修費	1億4,566	1億2,786	1,780	道路、建物等の維持費
その他	3,199	3,615	△416	積立金、貸付金等	
合計	33億7,000	32億	1億7,000		

平成28年度3月定例会は3月4日から24日までの21日間の日程で開催した。

本年度の一般会計及び特別会計予算・条例制定等45議案について、慎重審議し原案通り可決した。一般質問は4名の議員が行い町政に対し活発な議論がなされた。

今年7月に行われる町長改選を控え竹内町長は勇退を表明された。本来なら骨格予算とすべきですが地方創生に係る事業の継続などを考慮し年間予算の編成となった。新年度予算は昨年策定された江府町総合戦略に基づき少子高齢化に対応した事業を中心に編成されている。

平成28年度当初予算における基金残高は10億7千万円、起債残高は41億5千万円となっている。

平成27年度補正予算主なもの

地方創生事業
(全額国の補助)
5,447万円

- ・特産品開発事業 765万円
 - ・学習塾運営事業 526万円
 - ・移住定住促進事業 1,328万円
 - ・小さな拠点整備事業 400万円
 - ・誘客支援事業 2,428万円
- (「天の虫」コミック化、十七夜、観光PR等)

情報処理費
マイナンバー制度のセキュリティ
対策業務 5,301万円

索道特別会計
赤字補填
3,500万円

農業公社
赤字補填
480万円

平成28年度予算主なもの

し尿処理施設清化園
建設負担金
2億1,617万円

小学校プール
改修工事
907万円

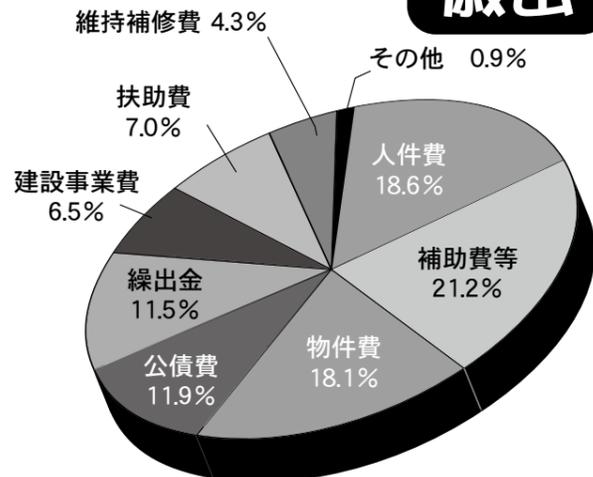
あやめの指定管理者
移行に伴う負担金等
1億3,052万円

買い物福祉サービス
ひまわり号の見守り
925万円

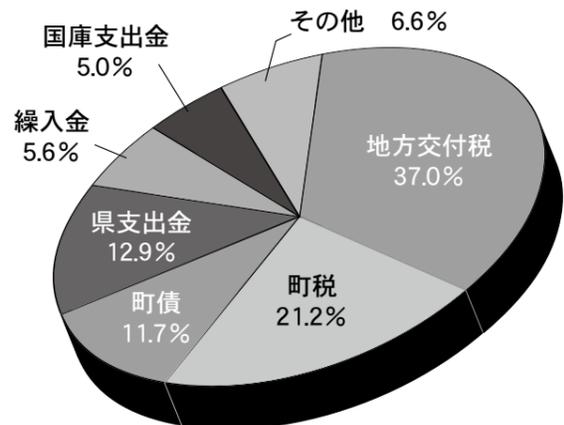
地籍調査事業
川筋地区、杉谷地区
8,530万円

地域おこし協力隊
新規3人計10人
3,990万円

歳出



歳入



特別会計(15会計)

総額 18億3,462万円
(対前年比 6,115万円減額)

(単位：万円)

特別会計	28年度	27年度	増減	繰入金
住宅新築資金貸付事業	92	109	△ 16	0
国民健康保険（事業勘定）	3億8,687	4億2,970	△ 4,283	2,347
国民健康保険（施設勘定）	2億5,865	2億4,560	1,305	4,272
介護保険事業（保険事業勘定）	5億9,074	5億9,417	△ 344	8,380
介護保険事業（サービス事業勘定）	209	290	△ 81	0
介護老人保健施設	5,270	4,534	736	1,491
後期高齢者医療	4,907	5,322	△ 415	1,951
索道事業	7,980	7,942	38	0
簡易水道事業	9,502	2億793	△ 1億1,291	4,641
農業集落排水事業	1億6,146	1億3,997	2,149	8,347
林業集落排水事業	679	581	99	435
特定環境保全公共下水道事業	1億3,978	8,056	5,922	4,081
江尾財産区	256	263	△ 7	0
神奈川財産区	234	161	73	0
米沢財産区	583	583	0	30
合計	18億3,462	18億9,577	△ 6,115	3億5,975

平成28年度主な事業

江尾診療所機器更新

超音波診断装置 1,350万円
歯科診察台 300万円

介護老人保健施設あやめ

4月より尚仁福祉会による運営が始まる。

介護保険事業

生活支援サービス事業
社協委託料 546万円



介護老人保健施設あやめ

江尾地区と川筋地区下水道統合
補助率50%の下水道債を財源とする 5,940万円

索道事業

第2リフト塗り替え 320万円
気象計更新 200万円
圧雪車修理 425万円
草刈り機更新 100万円

3月定例議会 主な議決事項

◎条例制定

- 江府町いじめ問題調査委員会設置条例
国のいじめ防止対策推進法施行により西部7町村にて鳥取県西部町村いじめ問題対策協議会共同設置する。それに伴い「江府町いじめ問題調査委員会」を設置し緊急事態に対応できるようにするもの。医師・弁護士に協議会の専門員が加わり委員5名以内とする。

- 江府町職員の定年等に関する条例の一部改正

診療所において医療業務に従事する医師及び歯科医師の定年を年齢60年から65年にする。

- 江府町特別職の職員で非常勤の者の報酬および費用弁償に関する条例の一部改正

他町に比べ低かった監査委員の報酬を引き上げ農業委員と同額にする。

学識経験者は月額26,800円、議会選出監査委員は18,000円とする。

- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

西成地区を吉原地区飲料水供給施設に編入し4基の消火栓を設置

第1回臨時議会 平成28年1月20日

- 江尾診療所電子カルテシステム導入契約の相手方

(株)エハルス営業本部

契約金額

1,397万円

第2回臨時議会 平成28年2月22日

- 一般会計補正予算

積雪による除雪委託料

1,700万円増額

- 給与の一部改正条例

議員、特別職職員の人事院勧告により期末手当を5%増額し職員は給与を0.4%勤勉手当を10%増額する。



江尾診療所



陳情の審査結果

件名	提出者	理由	審議結果
軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	軽度外傷性脳損傷 仲間の会 代表 藤本久美子	今の時点では脳しんとうからの症状に対する因果関係が分かりづらい為	趣旨採択
精神障がい者の交通運賃割引制度の適用を求める意見書提出に関する陳情書	鳥取県精神障害者 家族会連合会 会長 濱崎 智照	社会参加と平等という障がい福祉サービス・障がい者施策から抜けており割引制度が受けられる様にする為	採択
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	最低賃金の改善は国民の願いであり前に向かって考える必要だが中小企業支援も同時にすべきと考える為	趣旨採択
「名護市辺野古への新基地建設凍結と地方自治の尊重、国民的議論の推進を日本政府に求める意見書」提出に関する陳情書	反核・平和の火りレー 鳥取県実行委員会 実行委員長 田中修一	非常に大きな問題であり、国の動き・沖縄県民の主張を良く見て判断したいと考える為	継続審査

一般会計

予算概要（財務）

- Q 財政安定化の基本は？
- A 公債費比率18%を超えないように緊急性も考慮しながら有利な起債を活用する。

総務課

- Q 役場宿直員の体制は？
- A 現在、宿直員は毎日2名体制で勤務しています。今後、十分な指導をしていきます。
- Q 町のマイクロバスが老朽化している。代替え予定は？

- A 本年度は予算化していないが、早急な対応をしていきます。

人権同和対策

- Q あらゆる人権に対する意識調査は？
- A 本年実施します。
- Q 男女共同参画の実態は？
- A 女性管理職の割合は高いが職員比率は低い。
- Q 児童館の利用状況は？
- A 毎週水曜日にバス待ち時間を利用して50名くらいが利用しています。

企画情報課

- Q テレビを使つての情報発信はどうか。
- A 財政的に大きな負担があり予算化できなかったが、今後検討します。

住民課

- Q マイナンバーカード交付に向けて住民に対し働きかけは？
- A 住民に対してPRに努めていきます。
- Q 町営バスについて今後の予定は？
- A 江府町地域公共交通会議で検討し、5カ年計画で小型化する予定です。

建設課

- Q 高規格（江府）道路の進捗状況は？
- A 今年には洲河崎大橋上部の舗装と工事を計画しています。

農業委員会

- Q 平成29年度から農業委員会制度が変わるが？
- A 農業委員は現在と同じ上限14名で町長の任命制になります。また、新たに農地利用推進委員が上限6名まで設けられ、これは農業委員会の推薦によります。

教育委員会

- Q 鳥獣被害の実態と捕獲数は？
- A 鳥獣被害の実態と捕獲数は？
- Q イノシシ110頭、シカ10頭を捕獲しました。
- Q 鳥獣被害の実態と捕獲数は？
- A 鳥獣被害の実態と捕獲数は？
- Q 広島県で誤った資料による進路指導で問題が発生したが？
- A いじめ問題も含め、しっかり指導していきます。

農林産業課

- Q がんばる地域プランの内容は？
- A 鳥取県の支援を受けて平成25年度から5カ年計画で実施しています。今年、農業公社にコンバインと乗用田植え機を導入、特裁米研究会活動資金、こんにゃく栽培振興への取り組み、集落営農新規参入人材育成への取り組み等です。

奥大山まちづくり推進課

- Q タクシーの利用助成は？（町営バスも含め）
- A 70歳以上、運転免許証返納者、障害者、介護認定者が対象者で一年間48回利用できます。
- Q 今年、鳥取県西部一円で開催され、本町では7月に分科会が行われます。
- Q 全国ホテル大会とは？
- A 今年、鳥取県西部一円で開催され、本町では7月に分科会が行われます。
- Q 集落コミュニティ助成の今後の見通しは？
- A 28年度は4集落が対象になっています。

予算の審議

福祉保健課

- Q 社会福祉協議会の人員と今後の活動は？
- A 5人体制で地域福祉、ボランティアセンター、シルバー人材センターの事務局等が主な事業になります。
- Q 老健施設あやめの指定管理者が尚仁福祉会に移行することについて？

- A あやめの職員（正職員、臨時含）49名が移行します。

- Q あやめの職員の退職金はどれくらいになるのか？

- A 6千万円江府町が負担することになります。



洲河崎大橋

特別会計

国民健康保険は

Q 国保事業基金の残高はどのような状態になっているのか。

A 現在残高は1億1千万円となっています。

Q 国民健康保険料の改定は考えられるのか。

A 県一本化によって保険税を段階的に引き上げていく予定だったが、平成27年度までに水準以上に達しているのが現状のままです。

診療所の状況は

Q 施設勘定の基金は現在いくらか。

A 現在の基金は1億5300万円です。

Q 患者の地域割合はどのくらいか。

A 8割が町内で、その他は日野町・米子市・県外という状況です。

介護保険は

Q 施設に入る認定の状況は。

A 要介護一は6名・二は5名・三は12名・四は30名・五は22名で合計75名です。

Q 地域福祉のあり方についての考え方は。

A 尚仁福祉会との連携を大事にし、地域福祉に積極的に関わっていききたい。

老健施設あやめは

Q 介護施設の整備とは。

A トイレと玄関フロアの改修工事です。

Q 修繕費の負担割合は。

A 60万以下は尚仁福祉会負担・60万以上は町が負担です。

Q 尚仁福祉会に対する行政・議会の関与については。

A 指定管理先については町・議会が関与できるような体制をつくりたい。

農業集落排水事業は

Q 川筋地区農業集落排水と公共下水の接続は。

A 今年度接続にむけて工事を進めます。



公共下水に接続される川筋地区処理場

一般会計

予算特別委員会 参考意見

平成28年度江府町一般会計予算は、33億7000万円、平成27年度予算に対し前年比105・3%、金額にして1億7000万の増となっている。

し尿処理施設清化園は平成27年度から3カ年計画で大規模な改修施設整備を行っており負担金が増となっている。

そのほか、参議院議員選挙、町長選挙が予定されることや、老健施設あやめの累積欠損金の負担金、あやめの指定管理委託料、町道下安井舟場線改良事業の調査費なども増額の要因である。

総務課

(1) 新年度に向けて職員の間も町民に対する接客、職員の服装等にも細やかな気遣いを望みます。

(2) 日野高校魅力コーディネーターと学校現場とがしっかりと連携を図り成果を上げていただきたい。

(3) 消防団の使用する無線に消防移動系トランシーバー30台導入、災害時における利便性向上を図りたい。

(4) 小学校の通学路と安全を充分に考慮し、将来的には踏切等も視野に入れた改良を検討されたい。

企画情報課

(1) 鳥取県自治体ICTを推進し、コスト削減

を図りたい。
(2) マイナンバー制度における個人情報漏えいに対する懸念や要望等があれば集落に向いて説明会を実施されたい。

住民課

(1) バスの耐用年数は走行距離70km〜80万km。町営バスの走行距離は40万kmである。計画的に更新し、小型バス・デマンドバスも検討されたい。

奥大山まちづくり 推進課

(1) 西ノ島との経済交流事業について道の駅奥大山を活用して特産品等の販売を拡大されたい。

(2) 全国ホテル大会が今年、鳥取県西部一円で開催されるが江府町をしっかりとアピールされたい。

(3) 地域おこし協力隊員が不安から退職する人が出るのには残念とし、新規募集については慎重に将来性をもって生活できるように物心両面で支援されたい。

福祉保健課

(1) 体制が変わる社会福祉協議会の対応をしっかりと取り組んでいただきたい。

(2) 江尾診療所の待合スペースの拡充を検討されたい。

(3) 生活保護世帯は近年横ばい状況であるが、今後も生活困窮者の実態を把握し、自立促進



町営バス乗降（武庫地内）

により一層努められたい。

農業委員会

(1) 農業委員会法の改正に伴い新たに農地利用推進委員が設けられる。実情に合った体制を検討されたい。現在の委員の任期(平成29年7月まで)以後、選挙ではなく任命となる。人数は検討。

農林産業課

(1) パーガーフエスタ出店を促進されたい。
(2) 農業従事者の高齢化により農地を守ることが困難な農家が増えている実態から農業公社の強化、新規就農者の確保、集落営農の組織作りに一層努力されたい。
(3) 鳥獣被害の実態と捕獲数はイノシシ110頭、シカ10頭
(4) ナラ枯れが御机、大河原、瓜菜沢に発生。拡大防止対策に努力されたい。

建設課

(1) 広域基幹林道宝仏山線俣野工区の調査費が付いたが、建設工事の促進を

図られたい。

(2) 下蚊屋ダムの水質等調査については、特に問題なし。又、笠良原の集水場所に草の種子を蒔いてグリーンベルトを設置し、土砂流出対策に対応努力されたい。

教育委員会

(1) 広島県で誤った資料による進路指導等の問題で、一人の生徒の将来が絶たれるという痛ましい事件がありました。江府中学校においてもいじめ対策も含めて、十分な指導をされたい。

(2) 小学校のプールの改修が計画されているが、併せて更衣室、トイレの改修も要望する。
(3) 町の観光資源にもなる文化財の維持管理を奥大山まちづくり推進課と連携して進められたい。

(4) 図書館が手狭になつてきているが診療所等に出張図書館を設置し、利用者の目に付きやすい

様工夫されたい。

(5) 体育館のトレーニング室の器具がかなり古くなってきた。危険防止策を講じて利用促進を図るよう検討されたい。

(6) 地域未来塾がNPO法人により中学3年生を対象で、週2回英語数学で開設予定となっているが、今まで、米子方面まで塾に通う生徒も多く負担も多かったが、町内の開設に期待したい。
(7) 不登校等の未然防止、



エミーズカフェ (旧社会福祉協議会内)

またいじめ等の早期対応に取り組み、すべての子供達が健やかに学校に通えるように配慮されたい。

特別会計

国民健康保険 (事業勘定)

平成30年を用途に県の広域連合により保険税が決定されるが、事務の効率化等のメリツトを最大限に活用されたい。

国民健康保険 (施設勘定)

① 医科にエコーを新規に導入し・歯科の診察台を更新することにより、町民の一層の健康管理に努められたい。
② 医療用機器購入については、国の補助・町起債など有利な財源を利用し、今後順次更新されたい。

介護保険事業 (保険事業勘定)

① 在宅ケアを受けておられる方が、今後施設入所の可能性が多くなること、予想されるので十分対応をお願いいたします。

② 介護予防は今後重要な役割を担うと考えられる。社会福祉協議会らんちゅう等と十分な連携を取って対応されたい。

介護老人保健施設 (あやめ)

尚仁福祉会に対する行政・議会の関与について、評議員等できつかりと監督できる体制づくりをされたい。

索道事業

① 平成29年度に第1リフトが新設されるのに関して、若いスキー客の増加に繋がるよう情報発信を積極的に行なわれたい。
② 温暖化による雪不足のために発生する休業

手当等のコストが増大するので、休業手当のあり方について検討されたい。

簡易水道事業

俣野第2水源の確保に探查を実施してあるが、確実に安心・安全な水道が供給されるよう万全を尽くされたい。

農業集落排水事業

① 公共料金の改定の必要が生じてくること懸念されるが、審議会や検討委員会できつかりと議論をされたい。
② 川筋地区など先行して着工した地域は、劣化等が心配される。長寿命化計画を策定し、しつかりと将来設計をされたい。

特定環境保全 公共下水道事業

農業集落排水の川筋地区との接続工事によつて今後のランニングコストの軽減に繋がるよう努力されたい。

町政ここを問う

一般質問

一般質問は4人の議員が行い、町長の方針をたじた



田中 幹啓

江府町のまちづくりは

問	ふるさと納税の状況は
答	大幅に増加している

質問 都市と地方の税制格差を埋めるといふ発想から生まれた、ふるさと納税は本町ではどのような状況になっているか。

町長答弁

本町は平成20年度より開始しているが、8年間の寄附は2950件で3630万円に及んでいる。ご希望の商品は69・2%が水である。今、特産品が次々と開発され、プレゼント商品が広がっている。ご寄附を頂いた人達を新たな江府町の応援団につなげていくよう努力

する考えだ。寄附の中から27年度は江府町民俗資料館の改修に300万円をに使わせて頂いた。

問	無電柱化について
答	地中化ということとは厳しいが電柱の移転は検討したい

質問

美しい町、安全な町をめざして無電柱化をすすめる考えはないか。

町の景観を一新し、安全性を高める事業である無電柱推進に関する法案(案)も出来、今後少しずつ動いてくると予想できる。江府町では貝田集落ですでに実施されており、すばらしい風景を

かもし出している。電柱が立っていて折角の景色が生かされていない場所も多く見られる。大変な費用もかかるが、長期展望に立って電柱のない町を売り出したらどうか思う。

町長答弁

本町の大きな財産に景

観がある。大山南壁、烏ヶ山は他に類を見ない景観である。中学校の跡地、夜振橋から見る景観は素晴らしいものがある。しかし日野川沿いに電柱が走っており、ここに電柱がなかったらと思う。地中化はということとは厳しいが空中線を考える事は可能と思う。



夜振橋こいのぼり

問	奥大山のアップルについて
答	周辺地域を含めPR

質問

①大山の写真展を開催する考えはないか。

②町内景観をポストカードにする考えはないか。
③写真付き奥大山マップを作成する考えはないか
以上の3点を伺う。

町長答弁

①平成30年には伯耆の国大山開山1300年、そして今国立公園80周年という節目の年であるので、写真展というのも一つの手法として必要な部分もある。

②道の駅がオープンし、ポストカード・クリアホルダー・缶バッジも一つの方法と考えている。コンテンツを行い、よい写真を見つけたいと思う。
③マップは今後、一層必要になってくるので、江府町だけでなく鳥取県西部または蒜山などもしっかりPRしていきたい。担当課とも協議して行きたい。

竹内町長の進退は



三好 晋也

問	竹内町長の進退について
答	若い人にバトンタッチする

質問

本年7月末をもって町長の任期が切れます。竹内町長は3期12年にわたり町政のかじ取りを担ってこられました。その間、厳しかった江府町の財政を健全化、そして安定化に尽力されました。その成果については誰もが認め、評価しているところでもあります。一方、町長自身の悲願でもあった中学校の新校舎建設により江府町における素晴らしい教育環境を整備されました。また、4名の犠牲者を出した奥大山スキー場の雪崩事故の犠牲

者に対し哀悼の誠を尽くし、二度と過ちを繰り返さないとの強い決意を示され、犠牲者とその遺族に対する慰霊活動をいまだ続けられています。町長の立場を超えたご苦労やご努力に対し、私自身敬意を表するものであります。

さて、町政に目を転じれば、今後益々進むであろう少子高齢化社会において、住民福祉の充実や役場庁舎移転新築問題、農林業の振興策等のすべてを網羅する「まち・ひと・しごと総合戦略」など財政健全化を睨みながら事業を展開していくことは町政のかじ取り役としての町長の職責は余人をもって代えがたいと思えます。そこで竹内町長

は本年7月に予定されまます町長選挙に4度出馬し引き続き町政を担うお気持ちがあるかどうか伺う。

町長答弁

私自身、12月議会においても進退についての質問を頂いたが、その時は今しばらく熟慮させて頂きたい、時間を頂きたい遅くとも3月議会には進退を明快にしたいと答弁した。それ以来、いろいろと私自身も平成16年8月に町長に就任した当時からのことを振り返りながら、また、今後の江府町のことも考えながら、町のことも考えながら、

親しい人にも相談しながら進めてまいりました。その結果、私自身は7月の満期をもって退任するという意思を明快にさせて頂きました。4選を目指しての出馬はしないとこのことを決断いたしました。その思いの一端を述べさせていただきます。世の中には初心忘れるべからずという言葉があります。当然、初心を描



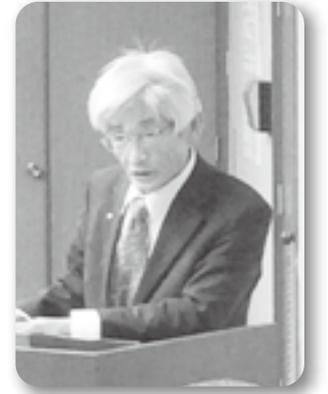
勇退される竹内町長

き、それを貫徹するためには誠意をもって努力するというところでございます。平成16年7月町長選挙に出馬した当時は合併論議真っ最中でしたが住民投票の結果、単独で、小さくても頑張っているという町民の意思表示がなされ、前福田町長も大変体調が悪く任期を1年残し勇退されたところでございました。当時は小泉内閣の三位一体改革の最中で地方にとっては財政的にも大変厳しい状況でございました。行財政改革が柱となり行政職員、また町長自ら、とりわけ特別職、議会、町民の皆さん、みんなで何とか財政を健全化しようと汗をかかせて頂きました。

次に、私の人生の中で今までもまたこれからもやはり一番重たかったことは平成22年12月31日のスキー場雪崩事故でございます。自然災害ということではあるが、やはり町の責任者としての責任を取りたいとの思いに対し遺族とのきちんとした対応をとることが仕事だ、責任を果たすことだという判断をし引き続き3期目に挑戦し、今日、御遺族の皆様への対応は終わりました。

地方創生、奥大山の恵みを生かし、人が集う町という「まち・ひと・しごと総合戦略」がいよいよスタートします。これからはやはり若い人を中心にバトンタッチをさせて頂きたいという気持ちになりました。

江府町の行財政は



竹茂 幹根

問 スキー場事故の対応は

答 安全対策に務めています

質問 3期12年町政を担われた中で、脳裏を離れないのは、スキー場事故、誠にその通りと推察をする。

私は、町として毎年幾分かの線香代を遺族にすべきと考えるがどうか。

町長答弁

スキー場事故の御遺族への対応は、毎年スキー場開きに、慰霊碑に献花し、安全対策に努める誓いをしています。

問 小中学校の教育行政を問う

答 教育の理念を継承していくこと

質問 新教育長として、小・中学校の教育行政に関して、指針と抱負を問う。

教育長答弁

江府町の教育の理念を継承してゆくことが、私の仕事であり務めと感じている。

特に中学校の生徒数の減に伴う部活の有り方については、必要に応じて学校現場と相談し今後の方向性については検討します。

次に、小学校の放課後の児童と教師の交流については、子供を多面的に

見る上で重要なことと考えています。

問 財政の安定化とその確立は

答 大幅に改善

質問 財政の安定は、ほぼ確立したということだが、安定条件や、その評価について具体的に説明してほしい。

町長答弁

公債費は、平成16年8月残高は一般会計70億、特別会計52億で計102億が、平成26年末は、一般会計38億、特別会計34億で合



江府中学校

問 町有林が

答 必要か

計72億の負債があり30億減っています。大幅に改善できていくことは、数字的なことから事実です。

質問 下流域の生活に配慮し必要

質問 大建工業からは、1mが13円で、さかやは1mが130円で10倍の価格差がある。大建は70町歩が817万円、さかやは7町歩817万円であるが130万円もの高価で町有林として購入する価値があるのか伺う。

町長答弁

竹茂議員からは、さかやについて、三度目の質問です。私どもが、公共価格で売ってくれ、買わせてくれと言ったことは一度もない。さかやから国交省が310円で山林補償したから、それで買ってくれないかとのことであったが、交渉の結果、130円となった。町が

きちっとした財産として将来の世代も安心し、また下流域には、大原水道もあり、いろんな生活母体を配慮したということです。

問 下安井・舟場間の町道の新設について

答 長年の懸案であり必要

質問 下安井・舟場間の町道新設計画が県の事業として計画され、総工費約11億円で日野町・江府町で4割負担と聞くと、私は、もうこれ以上の生活道路の新設は止めるべきと思うが、町長の考えを伺う。

町長答弁

下安井・舟場間の町道の新設について、必要と考えている。

今年度の予算は、調査研究の調査費です。

地域の活性化につながる施策は



三輪 英男

問	出産祝い金 交付事業は
答	前向きに 検討する

質問 少子高齢化時代の人口減少の歯止めとして、第3子以降の出産祝い金を増額することによって移住・定住の促進に繋がるものとして期待できると考えるが町長に伺う。

町長答弁

実際にお子さんをお持ちの方からの切な思いということもお聞きしました。3子以上についてのめり張りということはやはり検討してみる必要はあると考えています。

問	アグリビジネス スクールは
答	マネージメン トを構築

質問 農業公社の更なる活性化に繋がるビジネスサポートスクールについて町長の見解を伺う。

町長答弁

本来的に江府町の担い手、そういう人たちを育てていこうという観点からおもな内容としては、新規就農者のコース、担い手・経営者コース、集落営農コースの3コースを設けています。外部講師を招き、講習会等の座学を中心に行いたいと考えております。

問	町独自の 支援について
答	積極的に 支援

質問 農地中間管理事業の町独自の支援として10アールあたり4,000円の補助金を支給していますが、その波及効果について見解を伺う。

町長答弁

公社と同等の面積を担い手の皆さんが自分の農地以外に請け負って頂いているわけです。金額の大小は別として、町が応援してくれているという意識を持って頂いている事が大事だと考えています。今後、県に半分位の補助金をお願いして行きたい。

問	決算上の不用 額について
答	メリハリを 付けて

質問 決算上の不用額のうち、地域少子化対策事業の3件の予算のうち2つが未執行のため不用額でした。大変重要な事業であったので、しっかりと内容を精査して頂きたい。

町長答弁

予算については担当課に於いて十分に配慮いたしておりますが、予算の執行には1年間の余裕があるわけですから、住民の皆さんの利便に供すれば、より一層効果が出るので、今後は執行に気をつけて行きたい。



地域を支える大きな力

人権擁護委員任期満了に伴い
清水礼子氏を再任した

今後よろしく願います。



清水礼子氏

鳥取県議会自治表彰を川上
富夫氏が議員在職12年以上
で県議長会より表彰された

今後江府町発展のため活躍を願
います。



川上富夫議員

議会議務局

3月末日を以て、加藤泉議会議務
局長が退職されました。後任には梅
林茂樹氏が建設課長より、江府町議
会議務局長に再度任命された。



梅林茂樹

企業誘致調査特別委員会報告

3月17日

サントリーの奥大山天然水生産棟増設に伴い、竹
内町長・吉村工場長ほか関係者を委員会に招致し、
工事説明等確認した。

特に工事関係者の車輛増加が見込まれるが、安全
に充分配慮して無事工事の完成がされるようお願い
した。

4月11日

サントリーの奥大山天然水倉庫棟増設に伴い日本
通運奥大山工場に工事説明等を受ける。

安全に充分配慮して無事工事が完成されるようお
願いした。



工事が進むサントリー第2工場

庁舎等公共施設建設調査特別委員会報告

3月17日

鳥取西部農業協同組合江府支所等の購入依頼につ
いて竹内町長・植田専務ほかを招致し、農協の取り
組みについて調査した。

植田専務から今後江府支所の利活用について、江
府町と前向きに協議することの発言があり、今後の
協議を注視していくことを確認した。



JA江府支所

ひとこと



山陰合同銀行江府支店
支店長 浅中 雅彦

江府町に 赴任して

昨年の8月に山陰合同銀行江府支店に赴任して8カ月が経過しました。山陰合同銀行では十年前から助沢・下蚊屋地区で森林保全活動「ごうぎん希望の森奥大山」を行っており、私も当初から活動に参加していただきましたので、江府町には何かしら縁のようなものを感じております。

赴任してまず感じたことは、町民の皆さんがとても親切で、温かく接してくださるということです。また、住民全体で江府町を盛り上げていこうという雰囲気にあふれていて、江尾十七夜

をはじめ様々なイベントに積極的に参画されています。そして自然が素晴らしいということ。鍵掛峠の絶景はもちろんのこと、御機の茅葺き小屋や貝田からの大山の眺望は最高です。休日の天気の良い日にはよく写真撮影に出かけるようになりました。

とても感心したのは、子育て支援が非常に充実していることです。保育料が無料で、高校生の定期券代の補助があり、今年度は公設の学習塾も開設されること。こんなに子育てに手厚い市町村は他にないと思います。このことはもっとPRすべきだと思います。

ただ、ひとつ残念なことは、飲食店が少ないということです。食事する人がいないから飲食店がないのか、飲食店がないから食事する人がいないのか、難しい問題です。

山陰合同銀行江府支店は7月より江府出張所となりますが、今後とも住民の皆様のお役に立てるよう行員一同努力してまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。



大満 山口 恵子

江府町での 子育て

生まれた町で過ごした年月より江府町で過ごす年月が長くなりました。子ども二人にも恵まれ、現在は大満で暮らしています。

子ども達は今年、上が20歳と下が18歳になり、そろそろ巣立ちの時です。この子達は本当に沢山の方に守られ支えて頂きながら育ててくれたと実感し、家族はもちろん地域の方々のおかげだと感謝しています。

私は、子どもが幼き頃から仕事を始めており、当時は町営住宅に暮らしていましたので、夏休みなど長い休暇はどうしようかと悩んでいましたが、「夏休み教室」が開かれ宿題などを見てもらいながら安全に過ごすことが出来ました。また、町民プールでの水泳教室、

冬の奥大山スキー学校でそれぞれ楽しむことが出来るようになりました。これらの教室は地域の方々が指導をされていました。そして、送迎等で困っている時には周りの方に助けて頂きました。大きくなった今でも声を掛けてくださる方もいて、大変心強いことです。こうして子育てが出来たのは江府町で子育てをしてきたからです。もちろん、違う地域にも沢山の子育て支援があると思います。しかし、主人も育ったこの自然豊かな江府町を子ども達の故郷にしてほしかったのです。いつかここを離れたとしても、この故郷にいつでも帰ってきたいと思ってくれると嬉しいです。



年度末は人の動向の節目です。竹内町長は今期で任期満了に伴い退任を決意表明されました。

白石副町長は、3月30日で江府町を退職された。今後の活躍を大いに期待します。

ふるさと創生の「加速化交付金」をいかして町づくりを積極的に進めていきます。

川上富夫

議会広報調査特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 上原 二郎 |
| 副委員長 | 三好 晋也 |
| 委員 | 川端 雄勇 |
| | 三輪 英男 |
| | 川上 富夫 |

